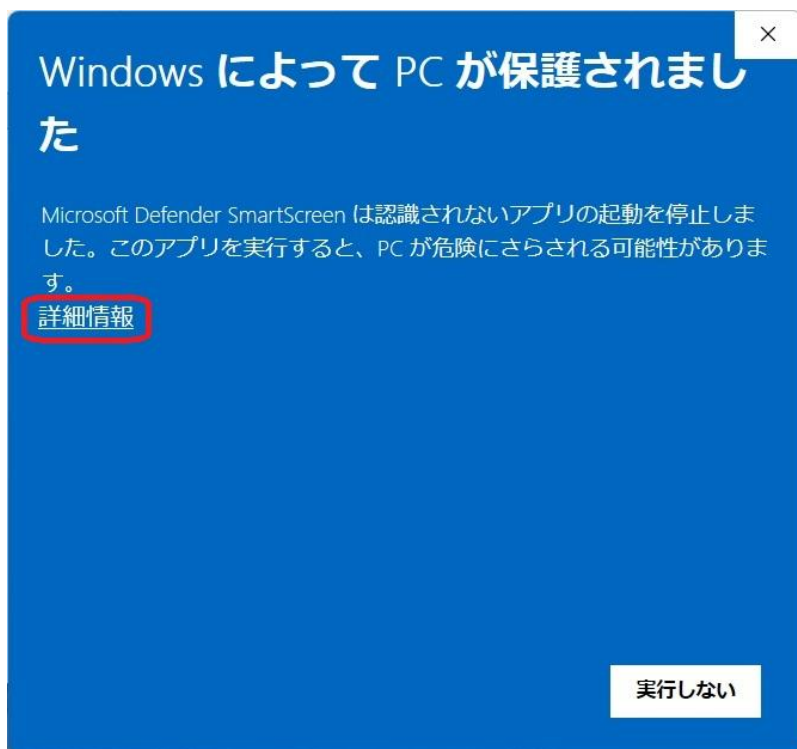
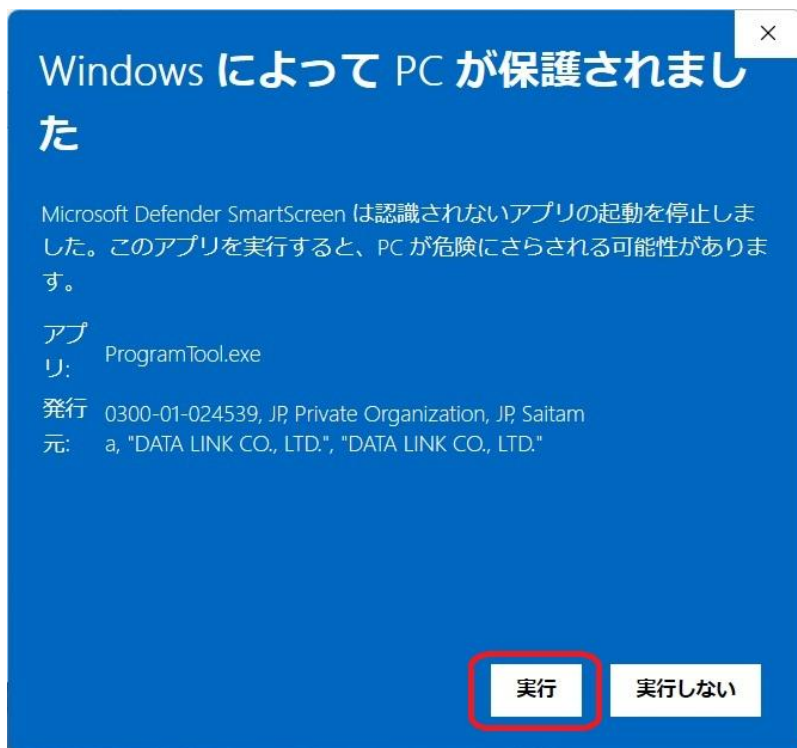


ProgramTool.exe をクリックすると、次の表示になります。（初回だけ）  
次の画面「詳細情報」をクリックして下さい。 次頁の表示となります。

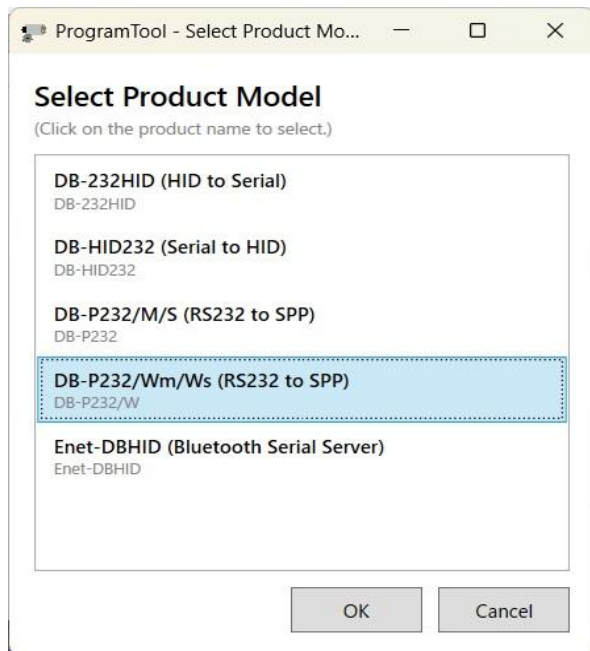


次の画面「実行」をクリックして下さい。



## 1) 変更の手順 1

次の画面で設定したい弊社製品名（例えばDB-P232/Wm/Ws）をクリックして、OK をクリックください。

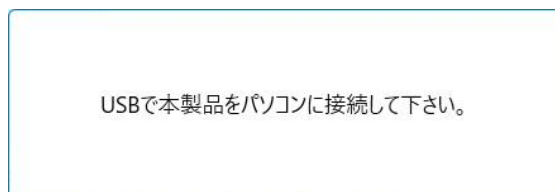


この結果、PROGRAMモードに入り、次の表示となります。

この時、弊社製品モジュールは未接続のままの状態に置いてください。

## 2) 変更の手順 2

以下の表示となります。



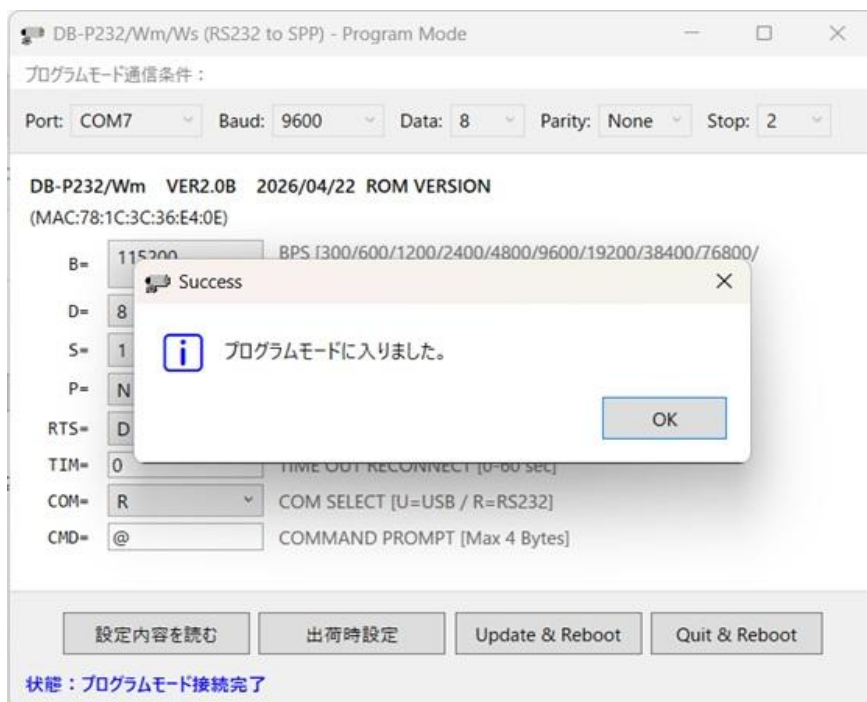
### 3) 変更の手順3

モジュールをU S Bで接続します。その結果、赤L E Dがフラッシングします。

論理的に接続が完了すると、赤L E Dが点灯し、次の表示になります。

この画面で、C O M = 7、B A U D R A T E = 9 6 0 0などは、接続したモジュールとP C間の通信条件となります。

OK をクリックしてください。



次の画面で各項目をクリックして通信に必要なパラメータを設定します。

DB-P232/Wm/Ws (RS232 to SPP) - Program Mode

プログラムモード通信条件:

Port: COM7 Baud: 9600 Data: 8 Parity: None Stop: 2

DB-P232/Wm VER2.0B 2026/04/22 ROM VERSION  
(MAC:78:1C:3C:36:E4:0E)

B= 115200 BPS [300/600/1200/2400/4800/9600/19200/38400/76800/153600/14400/28800/57600/115200/230400]  
D= 8 DATA [7/8]  
S= 1 STOP [1/2]  
P= N PARITY [N/E/O]  
RTS= D RTS HARD FLOW [E=ENABLE / D=DISABLE]  
TIM= 0 TIME OUT RECONNECT [0-60 sec]  
COM= R COM SELECT [U=USB / R=RS232]  
CMD= @ COMMAND PROMPT [Max 4 Bytes]

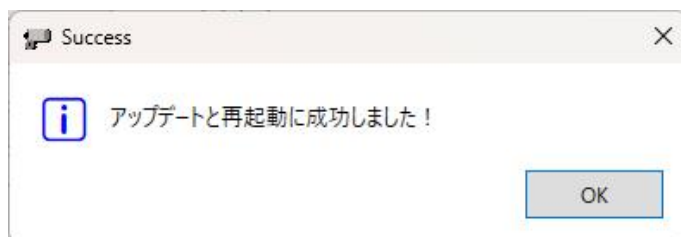
設定内容を読む 出荷時設定 Update & Reboot Quit & Reboot

状態: プログラムモード接続完了

#### 4) 変更の手順 4

設定後、

- 1) U p d a t e & R e b o o t をクリックすると、モジュールにこの値が書き込まれ P r o g r a m M o d e から通常通信モードに入ります。



- 2) Q u i t & R e b o o t をクリックすると、設定された内容は更新されず通常通信モードに入ります。